ハローキャリアワーク通信

令和７年４月１日
教育総合センター
事業推進担当課

３月２８日（金）、前日に続き、今年度最後のプログラムがいいほいくえん用賀分園で行われました。今日は、１名都合が悪くなり５名が参加してくれました。早々教育委員会の担当者から昨日の取り組みの様子の賞賛と、今日の流れについて説明を行い、子どもたちは最後の仕上げに取り掛かりました。

「絵本」チームは、お休みの子が出たので、２人になりましたが、出来上がった用紙を貼り合わせて「本」の形にしようとしました。しかし、どのように張り合わせるのかを考えていたところ、教育委員会の担当者から表紙で各ページを包み込むこと、本の上下、ページの順番など確認することと、貼り合わせる両面テープの扱い方を教わり、２人で確認しながら始めました。特に両面テープの取り扱いは苦戦していましたが、それでも丁寧に張り合わせて仕上げました。

「紙芝居」チームは、それぞれが残りのページと表紙を作成し始めました。各自が考えを巡らせ描き進め、約１時間で仕上げました。その後、紙芝居の順番を整え、その場面についての話を各自が描いたことを基に考え、簡単なリハーサルをして、互いに聞き合いました。そして、言葉を修正して出来上がりました。絵本も出来上がっていたので、リハーサルをしました。その後、少しの休みを挟み、いよいよ年長児のうみ組さんと対面しました。簡単に挨拶をして、２つのグループに分かれ、いよいよ「学校の楽しさを伝える」自作の絵本と、紙芝居の開始になりました。小学生の子どもたちは、緊張した面持ちでしたが、丁寧に伝えていました。そのことを感じたのかうみ組の園児たちも真剣に集中して聞いたり見入ったりしていました。それぞれ２回行って、質問コーナーも設けました。「ランチョンマットは毎日持っていくのですか？」「給食は美味しいですか」と絵本グループでの質問や、「休み時間はたのしい？」「ランドセルは、どこにしまうの？」などいくつかの質問を受けていました。絵本、紙芝居、両方の子どもたちは満足した顔を見せていました。その後、時間があったので園児と遊ぶ時間になりました。ここでは、同じ仲間のように溶け込んで、楽しく遊ぶ姿が多く見れられました。以下当日の様子です。

NEW YORK